

目 次

序 章

第1章 理念・目的	1
【大学全体】	1
(1) 理念・目的等	1
(2) 理念・目的等の検証	3
【A. 工学部】	4
(1) 理念・目的等	4
(2) 理念・目的等の検証	4
【B. 知識工学部】	5
(1) 理念・目的等	5
(2) 理念・目的等の検証	6
【C. 大学院工学研究科】	7
(1) 理念・目的等	7
(2) 理念・目的等の検証	8
【D. 環境情報学部】	10
(1) 理念・目的等	10
(2) 理念・目的等の検証	10
【E. 大学院環境情報学研究科】	12
(1) 理念・目的等	12
(2) 理念・目的等の検証	12
【F. 都市生活学部】	13
(1) 理念・目的等	13
【G. 人間科学部】	15
(1) 理念・目的等	15
第2章 教育研究組織	16
第3章 教育内容・方法	19
【A. 工学部】	19
1. 到達目標	19
2. 現状説明	19
①教育課程等	19
(ア) 学部・学科等の教育課程	19
(イ) カリキュラムにおける高・大の接続	31
(ウ) カリキュラムと国家試験	31

(エ) 医・歯・薬学系のカリキュラムにおける臨床実習	32
(オ) インターンシップ、ボランティア	32
(カ) 授業形態と単位の関係	33
(キ) 単位互換、単位認定等	33
(ク) 開設授業科目における専・兼比率等	34
(ケ) 社会人学生、外国人留学生等への教育上の配慮	34
②教育方法等	35
(ア) 教育効果の測定	35
(イ) 成績評価法	37
(ウ) 履修指導	38
(エ) 教育改善への組織的な取り組み	40
(オ) 授業形態と授業方法の関係	42
(カ) 3年卒業の特例	43
3. 点検・評価	44
4. 改善方策	48
【B. 知識工学部】	55
1. 到達目標	55
2. 現状説明	55
①教育課程等	55
(ア) 学部・学科等の教育課程	55
(イ) カリキュラムにおける高・大の接続	60
(ウ) カリキュラムと国家試験	60
(エ) インターンシップ、ボランティア	61
(オ) 授業形態と単位の関係	61
(カ) 単位互換、単位認定等	61
(キ) 開設授業科目における専・兼比率等	62
(ク) 社会人学生、外国人留学生等への教育上の配慮	62
②教育方法等	63
(ア) 教育効果の測定	63
(イ) 成績評価法	63
(ウ) 履修指導	64
(エ) 教育改善への組織的な取り組み	66
(オ) 授業形態と授業方法の関係	66
(カ) 3年卒業の特例	66
3. 点検・評価	67
4. 改善方策	74

【C. 大学院工学研究科】	79
1. 到達目標	79
2. 現状説明	79
①教育課程等	79
（ア）大学院研究科の教育課程	79
（イ）授業形態と単位の関係	79
（ウ）単位互換、単位認定等	80
（エ）社会人学生、外国人留学生等への教育上の配慮	80
（オ）「連携大学院」の教育課程	80
②教育方法等	81
（ア）教育効果の測定	81
（イ）成績評価法	81
（ウ）研究指導等	81
（エ）「連携大学院」における研究指導等	82
（オ）教育・研究指導の改善への組織的な取り組み	82
③国内外との教育研究交流	82
④学位授与・課程修了の認定	83
（ア）学位授与	83
（イ）課程修了の認定	83
3. 点検・評価	83
4. 改善方策	87
【D. 環境情報学部】	91
1. 到達目標	91
2. 現状説明	93
①教育課程等	93
（ア）学部・学科等の教育課程	93
（イ）カリキュラムにおける高・大の接続	95
（ウ）カリキュラムと国家試験	96
（エ）医・歯・薬学系のカリキュラムにおける臨床実習	96
（オ）インターンシップ、ボランティア	96
（カ）授業形態と単位の関係	97
（キ）単位互換、単位認定等	97
（ク）開設授業科目における専・兼比率等	98
（ケ）社会人学生、外国人留学生等への教育上の配慮	100
②教育方法等	100
（ア）教育効果の測定	100

(イ) 成績評価法	102
(ウ) 履修指導	102
(エ) 教育改善への組織的な取り組み	106
(オ) 授業形態と授業方法の関係	109
(カ) 3年卒業の特例	112
3. 点検・評価	112
4. 改善方策	118
【E. 大学院環境情報学研究科】	125
1. 到達目標	125
2. 現状説明	126
①教育課程等	126
(ア) 大学院研究科の教育課程	126
(イ) 授業形態と単位の関係	127
(ウ) 単位互換、単位認定等	128
(エ) 社会人学生、外国人留学生等への教育上の配慮	128
②教育方法等	129
(ア) 教育効果の測定	129
(イ) 成績評価法	129
(ウ) 研究指導等	129
(エ) 教育・研究指導の改善への組織的な取り組み	130
③国内外との教育研究交流	130
④学位授与・課程修了の認定	130
(ア) 学位授与	130
(イ) 課程修了の認定	131
3. 点検・評価	131
4. 改善方策	136
【F. 都市生活学部】	139
1. 到達目標	139
【G. 人間科学部】	145
1. 到達目標	145
③国内外の教育研究交流（大学全体として）	147
1. 現状説明	147
2. 点検・評価	150
3. 改善方策	152
第4章 学生の受け入れ	153
(1) 学部等における学生の受け入れ	153

1. 到達目標	153
2. 現状説明	154
3. 点検・評価	160
4. 定員管理	173
5. 編入学者・退学者	175
6. 改善方策	177
(2) 大学院研究科における学生の受け入れ	180
【A. 工学研究科】	180
1. 到達目標	180
2. 現状説明	180
3. 点検・評価	182
4. 改善方策	184
【B. 環境情報学研究科】	186
1. 到達目標	186
2. 現状説明	186
3. 点検・評価	189
4. 改善方策	192
第5章 学生生活	194
到達目標	194
(ア) 学生への経済的支援	195
(イ) 生活相談等	211
(ウ) 就職指導	221
(エ) 課外活動	224
横浜キャンパスに特有な事項	237
第6章 研究環境	240
到達目標	240
【学部の研究環境】	240
【A. 工学部】	240
(ア) 研究活動	240
(イ) 研究における国際連携	242
(ウ) 教育研究組織単位間の研究上の連携	243
(エ) 経常的な研究条件の整備	246
(オ) 競争的な研究環境創出のための措置	249
(カ) 研究上の成果の公表、発信・受信等	250
(キ) 倫理面からの研究条件の整備	251
【B. 知識工学部】	253

(ア) 研究活動	253
(イ) 研究における国際連携	254
(ウ) 教育研究組織単位間の研究上の連携	255
(エ) 経常的な研究条件の整備	255
(オ) 競争的な研究環境創出のための措置	257
(カ) 研究上の成果の公表、発信・受信等	259
(キ) 倫理面からの研究条件の整備	259
【C. 環境情報学部】	261
(ア) 研究活動	261
(イ) 研究における国際連携	262
(ウ) 教育研究組織単位間の研究上の連携	263
(エ) 経常的な研究条件の整備	263
(オ) 競争的な研究環境創出のための措置	266
(カ) 研究上の成果の公表、発信・受信等	267
(キ) 倫理面からの研究条件の整備	269
【D. 都市生活学部】	271
(ア) 研究活動	271
(イ) 研究における国際連携	271
(ウ) 教育研究組織単位間の研究上の連携	272
(エ) 経常的な研究条件の整備	272
(オ) 競争的な研究環境創出のための措置	272
(カ) 研究上の成果の公表、発信・受信等	273
(キ) 倫理面からの研究条件の整備	273
【E. 人間科学部】	274
(ア) 研究活動	274
(イ) 研究における国際連携	274
(ウ) 教育研究組織単位間の研究上の連携	274
(エ) 経常的な研究条件の整備	275
(オ) 競争的な研究環境創出のための措置	275
(カ) 研究上の成果の公表、発信・受信等	275
(キ) 倫理面からの研究条件の整備	275
【大学院の研究環境】	277
【A. 工学研究科】	277
【B. 環境情報学研究科】	279
第7章 社会貢献	281
(ア) 社会への貢献	281

(イ) 企業等との連携	285
第8章 教員組織	289
1. 到達目標	289
【A. 工学部】	289
1. 到達目標	289
2. 現状説明	290
(ア) 教員組織	290
(イ) 教育研究支援職員	292
(ウ) 教員の募集・任免・昇格に対する基準・手続	292
(エ) 教育研究活動の評価	293
【B. 知識工学部】	297
1. 到達目標	297
2. 現状説明	297
(ア) 教員組織	297
(イ) 教育研究支援職員	301
(ウ) 教員の募集・任免・昇格に対する基準・手続	303
(エ) 教育研究活動の評価	304
【C. 大学院工学研究科】	306
1. 到達目標	306
2. 現状説明	306
(ア) 教員組織	306
(イ) 教育研究支援職員	306
(ウ) 教員の募集・任免・昇格に対する基準・手続	307
(エ) 教育研究活動の評価	307
(オ) 大学院と他の教育研究組織・機関等との関係	308
3. 点検・評価	308
4. 改善方策	308
【D. 環境情報学部】	310
1. 到達目標	310
2. 現状説明	310
(ア) 教員組織	310
(イ) 教育研究支援職員	313
(ウ) 教員の募集・任免・昇格に対する基準・手続	314
(エ) 教育研究活動の評価	316
3. 点検・評価	317
4. 改善方策	318

【E. 大学院環境情報学研究科】	321
1. 到達目標	321
2. 現状説明、3. 点検評価	321
(ア) 教員組織	321
(イ) 教育研究支援職員	322
(ウ) 教員の募集・任免・昇格に対する基準・手続	322
(エ) 教育研究活動の評価	322
【F. 都市生活学部】	323
【G. 人間科学部】	326
第9章 事務組織	327
1. 到達目標	327
2. 現状説明	327
(ア) 事務組織の構成	327
(イ) 事務組織と教学組織との関係	329
(ウ) 事務組織の役割	330
(エ) 大学院の事務組織	332
(オ) スタッフディベロップメント (SD)	332
第10章 施設・設備	335
【A. 世田谷キャンパス】	336
(ア) 施設・設備等の整備	336
(イ) キャンパス・アメニティ等	341
(ウ) 利用上の配慮	341
(エ) 組織・管理体制	342
【B. 横浜キャンパス】	344
(ア) 施設・設備等の整備	344
(イ) キャンパス・アメニティ等	348
(ウ) 利用上の配慮	349
(エ) 組織・管理体制	350
【C. 等々力キャンパス】	351
(ア) 施設・設備等の整備	351
(イ) キャンパス・アメニティ等	353
(ウ) 利用上の配慮	353
(エ) 組織・管理体制	354
第11章 図書・電子媒体等	355
1. 到達目標	355
【A. 世田谷キャンパス】	356

(ア) 図書、図書館の整備	356
【B. 横浜キャンパス】	363
(イ) 情報インフラ	365
【C. 等々力キャンパス】	370
第12章 管理運営	372
1. 到達目標	372
2. 現状説明	372
(ア) 教授会、研究科委員会	372
(イ) 学長、学部長、研究科委員長の権限と選任手続	378
(ウ) 意思決定	381
(エ) 評議会、大学協議会などの全学的審議機関	382
(オ) 教学組織と学校法人理事会との関係	384
(カ) 管理運営への学外有識者の関与	385
(キ) 法令遵守等	385
第13章 財務	387
1. 到達目標	387
(ア) 中・長期的な財務計画	387
(イ) 教育研究と財政	387
(ウ) 外部資金等	390
(エ) 予算編成と執行	391
(オ) 財務監査	392
(カ) 私立大学財政の財務比率	393
第14章 点検・評価	395
(ア) 自己点検・評価	395
(イ) 自己点検・評価に対する学外者による検証	399
(ウ) 大学に対する社会的評価等	400
(エ) 大学に対する指摘事項および勧告などに対する対応	401
第15章 情報公開・説明責任	403
1. 到達目標	403
(ア) 財務公開	403
(イ) 情報公開請求への対応	404
(ウ) 点検・評価結果の発信	406
資料 第13章 財務 関係 表1～表5	